

災害情報研究会 2009年度 第2回会合（議事録）

（以下、敬称略）

1. 日時：2009年5月15日（金）15：00～17：20
2. 場所：インフォコム（株）会議室（原宿）
3. 進行：市川座長（レスキューナウ）
4. 記録：議事録 古藤（パスコ）
5. 出席者：（8名：敬称略・順不同）
市川（レスキューナウ）、高橋（インフォコム）、森島（SMC）、古藤（パスコ）、副島（大林組）、森本（浩）（建設技術研究所）、若林（イー・アール・エス）、須藤（横河電機）
6. 討議内容
 - （1）前回の内容及び、市川座長とりまとめ「BCAO 災害情報項目 090515 市川修正資料.xls」の整理
 - ・現在の最終成果は、「BCAO 災害情報項目 090515 市川修正資料.xls」のうち、「情報項目」、「フロー図」、「情報項目（※2）」
 - （2）この成果の論文を書くべきか？
 - ・5名の有志で、論文作成し、「災害情報学会」に発表する。
 - ・メンバーは、今のところ、市川座長、高橋副座長、森本（浩）（建設技術研究所）、副島（大林組）。他は、メーリングリストで公募する。
 - （3）今後の作業について
 - ・前回、ふり直した番号（「○」列の1～76）のすべてについて、「どこから（from）」「どのように（how）」を明確にする（以後、「A案」）
 - ・ふり直した番号のうち、重要情報に絞って、議論を掘り下げる。（以後、「B案」）
 - ・A案を各メンバーで、整理しつつ、B案を今後の研究会で、議論を掘り下げていく。
 - ・B案作業
 - ①重要情報の洗い出し
「○」列の1～76のうち、6・22・28・38・39・48・71・72・76。46と68については、38に含めて議論する。
 - ②どう議論するか？（38を例に）
38は、（）内の項目と、含めた46・68について、議論してゆく。

7. 次回までの宿題

(1) 論文発表について、スケジュール、章だてのたたき台を作成する。次回、進め方を決める。(森本(浩))

(2) A案について、各メンバーで分担し、「どこから(from)」「どのように(how)」を列挙する。(B案作業の項目は、46・68も含めてこの作業からは除く)不明点は、市川座長に質問すること。

- ・各自の分担(「○」列の1~76)

※別添エクセルファイル「BCAO 災害情報項目 090515A 案作業分担入り.xls」の「情報項目(A案作業分担)」シートを参照ください。

(3) B案について

- ・38について、自社・地域・取引先などの収集事例を次回までに各自持ち寄る。(誰から、どうやって、フロー(流れ)など)冊子等の資料からも可。

8. 今後の会場予定

(1) 次回: 6月19日(金) 場所: 大林組(品川)

(2) 次々回: 7月17日(金) 場所: 大林組(品川) またはユニアデックス(茅場町)

(3) 8月: 大林組(品川)

(4) 9月: インフォコム別館大会議室

- ・BCAO 他会員も呼んで、災害情報研究会の成果発表を行う。

以上